

ながめ

歩道橋や高台の公園、住宅地内のまちかどなど、ふとしたところに眺望ポイントがあります。

A つばき橋から



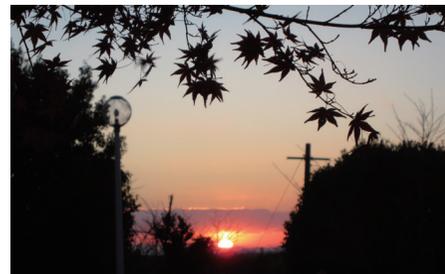
北側のイチョウ並木の先には新千里南町の家並みと島熊山緑地の緑。さらには北摂山系の姿を望むことができます。

1 桃山台駅北改札口付近から



新御堂筋の先に北摂山系の景観が広がります。

2 つばき公園から



夕日の眺めは絶景。

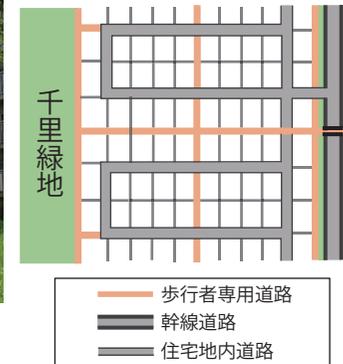
住まいと道のかたち

B ラドバーン方式の府営住宅



ラドバーン方式（歩車分離）で計画されました。車が進入する道は団地の東側（新御堂筋側）にあり、人が歩く広場や遊歩道は西側（南丘小学校側）に設置されています。 [P.48、49参照](#)

C 戸建て住宅のループ型道路（新千里南町2丁目）



住宅地内を通り抜ける車が進入してこないように道の形が工夫されています。

D 民有地の公開遊歩道



歩道沿いには木々や草花が植えられ、潤いのある遊歩道として地域の人たちに親しまれています。

木々の彩り

イチョウ並木、サクラ並木、リンゴの木・・・。
萌黄色、ピンク、白、深緑、黄色、紅色、赤・・・。
このまちには季節の彩りがあふれています。並木に導かれてまちを巡るのも新千里南町の楽しみ方の一つです。

E かえで橋から見るサクラ並木



かえで橋は、お花見のポイント。

F イチョウ並木と宅地の緑



3丁目では良好なまち並みを守り育てるための景観協定が結ばれています。

G 秋の千里緑地（新千里南町3丁目）



3丁目西側の千里緑地の遊歩道。紅葉の頃の景観は格別です。

H 千里南町公園のツバキ「オオカラコ」



公園東側の遊歩道沿いに植えられたツバキ「オオカラコ」の並木。道行く人に色鮮やかな春の便りを届けます。

●きりのき橋北側のリンゴの木



千里ニュータウン開発当初から育てられてきた木。秋にかけて実が赤く色づいていく様子を見ることができます。

千里丘陵の歴史

● 島熊山窯跡



約1400年前(古墳時代後期)に須恵器を生産していた登り窯の遺構。 [P.47参照](#)

3 宝生地蔵尊



千里ニュータウンで最古の由緒ある地藏尊。もともとは上新田に祀られていたものをここに移したそうです。

4 天竺川



「天竺」という名は、下流にあったといわれる「天竺山石蓮寺(せきれんじ)」に由来するとか。「天竺川ほたるの会」が天竺川に蛍を呼び戻そうと活動しています。

遊具・オブジェ

5 黄色いくじらのすべり台（市営新千里南第2住宅児童遊園）



公園の中できらりと光るクジラさん。通称「くじら児童公園」の主人公です。

1 健康歩道（痛快歩道）



千里南町公園にある足の裏で感じるオブジェ。まち歩きで疲れた足をほぐすのに最適。

7 フォー (four)



きりのき橋そばの幼稚園のオブジェ。ふんわりとした3つの白いかたまりとそれをみている子どもを合わせてフォー (four=4) とよばれています。